

高知工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	ソーシャルデザイン入門
科目基礎情報					
科目番号	B1017		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	SD 基礎教育・一般科目		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材					
担当教員	岩崎 洋平, 藤田 拓雄				
到達目標					
<p>■ 自分自身を知る</p> <p>1) 自分の好みや得手不得手に応じた学びのスタイルを身につける</p> <p>2) 現時点の自分の興味に基づいて、高専卒業後の目標（自分の姿）と計画（目標に向かう道筋）を立てることができる</p> <p>■ 社会に広く目を向ける</p> <p>3) 社会に存在するさまざまな職種の一部（複数）について、その仕事を行うための知識・スキルが何であるかの説明することができる</p> <p>4) 現在の社会の仕事にまつわる問題や仕組みについて、授業で取り上げた範囲において、説明することができる</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	自分にふさわしい学びのスタイルを身につけ、実践できる	自分にふさわしい学びのスタイルを身につけ、限定的に実践できる	自分にふさわしい学びのスタイルがなにかのかわからず、実践もできない		
評価項目2	現時点の自分の興味に基づいて、高専卒業後の目標（自分の姿）と計画（目標に向かう道筋）を立てることができる	現時点の自分の興味に基づいて、高専卒業後の目標（自分の姿）または計画（目標に向かう道筋）を立てることができる。あるいは両方が限定的である	現時点の自分の興味に基づく、高専卒業後の目標（自分の姿）と計画（目標に向かう道筋）が立てられない		
評価項目3	社会に存在するさまざまな職種の一部（複数）について、その仕事を行うための知識・スキルが何であるかの説明することができる	社会に存在するさまざまな職種の1つについて、その仕事を行うための知識あるいはスキルが何であるかの説明することができる	社会に存在するさまざまな職種の1つについて、その仕事を行うための知識やスキルが何であるかの説明ができない		
評価項目4	現在の社会の仕事にまつわる問題について、授業で取り上げた範囲において、説明することができる	現在の社会の仕事にまつわる問題について、授業で取り上げた範囲において、部分的に説明することができる	現在の社会の仕事にまつわる問題についてほとんど説明できない		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>ソーシャルデザイン入門（キャリアデザイン支援科目）の柱は2つあります。1つ目は、自分自身について知り、それを踏まえ、どういう方向に向かって進んでいくかの計画を立てることです。計画は立てたらその通りに実行しなければならぬ、というものではありません。いつでも見直せるものです。計画があれば、行き当たりばったりではなく、その都度その都度の見直しを持って、よりよく見直すことができるようになります。2つ目は、社会に広く目を向けることです。自分自身の見ている世界は限られたものでしかありません。これまでに思いも及ばなかった新しい職業が次々と生まれている中、自分自身の見ている範囲内で、仕事について考えることはあまりお勧めできません。社会を広くとらえ、その中で仕事を考える目を養っていく必要があります。またこの科目では、計画を立て、その計画を実行していくためのさまざまな方法を身につけていきます。</p>				
授業の進め方・方法	<p>質問に答える形でプリントに記入したり、ビデオを見たり、パソコンや携帯端末を使ったり、みんなで話し合ったりなど、さまざまな方法で学習を進めます。特に重要な方法は、eポートフォリオと言われるシステムを使うことです。このシステムは、高専在学期間、場合によってはその後も使い続けるもので、自分自身についての記録や、自分の作った作品を蓄積していきます。また、学習は授業時間中にだけ行われるものではありません。授業が終わった後の振り返りや、授業前のビデオ視聴などの予習もあります。どれも楽しくできるもので、心配は要りません。</p>				
注意点	<p>評価の割合は、試験の点数が前期・後期合わせて40%、eポートフォリオの使用・運用とeポートフォリオへの課題提出が40%、夏休み・冬休みの宿題（身近な人への仕事調査）が20%です。eポートフォリオへの記入では、授業外での学習が大切になります。</p>				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	第1回 目的と目標	・ シラバスの内容を把握する ・ 目的と目標の違いを説明できる	
		2週	第2回 情報セキュリティー関連の話①	情報セキュリティー関連の話①	
		3週	第3回 高専生活の目標を考える	自らの目標を確認し、説明できる	
		4週	第4回 将来と不安	自らの将来と不安を確認し、説明できる	
		5週	第5回 働く人が持つスキル①	働くために必要なスキルを説明できる	
		6週	第6回 働く人が持つスキル②	働くために必要なスキルを説明できる	
		7週	第7回 eポートフォリオ入門	eポートフォリオの基本的な操作ができる	
		8週	第8回 試験を振り返る①	試験を受けっぱなしにせず、そこから学ぶ方法を身につける	
	2ndQ	9週	第9回 学習スタイルを把握する	自分にふさわしい学習スタイルを説明できる	
		10週	第10回 学び方を振り返る	自分の学び方の特徴を説明できる	
		11週	第11回 ソーシャルデザイン工学科と仕事①	社会のできごととこれから学ぶことの関連を説明できる	
		12週	第12回 ソーシャルデザイン工学科と仕事②	社会のできごととこれから学ぶことの関連を説明できる	
		13週	第13回 情報セキュリティー関連の話②	情報セキュリティー関連の話②	
		14週	第14回 夏休みの目標を立てる	・ 夏休み中の目標を立てることができる ・ 夏休みの宿題への備えができる	
		15週	第15回 前期試験		
		16週	第16回 情報セキュリティー関連の話②	情報セキュリティー関連の話②	

後期	3rdQ	1週	第16回 100年ライフを考える	目的を考え、長期的な目標を立てることができる
		2週	第17回 働き方を考える	・雇用形態を説明できる ・自らの仕事の決め手を説明できる
		3週	第18回 失敗に強くなる	失敗に強くなる方法を学び、自分のふさわしい方法を実践できる
		4週	第19回 時間を管理する	時間管理方法を学び、自分にふさわしい方法を実践できる
		5週	第20回 学習意欲を高める	学習意欲を高める方法を学び、自分にふさわしい方法を実践できる
		6週	第21回 eポートフォリオの基礎	eポートフォリオのやや発展的な操作ができる
		7週	第22回 試験を振り返る②	試験を受けっぱなしにせずに、そこから学ぶ方法を身につける
		8週	第23回 時代による職業の違い	職業が時代によって変化していることを例を挙げて説明できる
	4thQ	9週	第24回 地域による職業の違い	職業が地域によって異なることを例を挙げて説明できる
		10週	第25回 新しい働き方	紹介された新しい働き方について、そのメリット・デメリットを説明できる
		11週	第26回 労働の基本を学ぶ	働くために知っておくべき法律の基礎を説明できる
		12週	第27回 ここまでの学びを振り返る	ここまで学んだことをeポートフォリオに整理して記入できる
		13週	第28回 学び合う下地をつくる	学び合う下地について学び、自分にふさわしい方法を実践できる
		14週	第29回 意見を出し合う	意見を出し合う方法を学び、自分にふさわしい方法を実践できる
		15週	第30回 後期試験	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	夏休み・冬休みの宿題	合計
総合評価割合	40	0	0	0	40	20	100
基礎的能力	40	0	0	0	40	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0